

一九九五年出土の木簡

概要

本号では昨年の研究集会で「一九九五年全国出土木簡概要」として報告したものを中心に六一遺跡から出土した木簡の情報を掲載することができた。発掘調査、遺物整理、報告書作成など、多忙の中、時間を割いて原稿をお寄せいただいた関係機関の方々にお礼を申し上げたい。

掲載した木簡出土遺跡は別表の通りである。そのうちのいくつかについて、概ね時代をおつて概観してみたい。

古代の都城遺跡では、まず飛鳥京跡出土のものが注目される。天武・持統朝の五十戸制下の付札など大宝令以前の貢進制度を考え上で貴重である。藤原宮跡では井戸の祭祀に関わる可能性のある呪符が出土した。近年注目されている宮町遺跡では、紫香楽宮への物資輸送などに関連して、従来の知見を越えた内容を持つ木簡が出土した。平城宮跡では造酒司推定地の南にある宮内道路の南側溝から、奈良時代末の春宮坊・皇后宮職に関わる木簡が大量に出土した。長

岡宮・京跡では内容が判然としないものが多いが、大量の墨書き土器や漆紙文書と共に伴した例があるのが注意される。平安宮跡では弘仁年間の「内酒殿」に關わる文書木簡が出土し、内裏周辺に展開した「所々」の平安初期のあり方を考える上で重要な知見をもたらした。

地方出土のものとして、官衙関連ではまず屋代遺跡群が注目される。大量の祭祀遺物とともに七世紀後半から八世紀前半の木簡が出土した。内容的には干支による年紀をもつ木簡、国符・郡符など地方行政に關わる文書木簡などがある。香住エノ田遺跡では史生の召喚に關わる郡作成の文書木簡が出土した。八世紀中頃のものと考えられる。文字が明らかでないところがあり、誰が何を命じたのか判然としないが、国と郡の関係を考える上で議論となろう。また、屋代・香住エノ田両遺跡出土の郡符などの文書木簡には意図的に刃物をいれて廃棄していると考えられる例が多くみられ、過去に出土した山垣遺跡、八幡林遺跡、荒田目条里遺跡の郡符など同様の例とともに、文書木簡の廃棄の作法を考える材料が増加することになった。九世紀のものとしては、祢布ヶ森遺跡から四点の題籤軸が出土したが、複数の郡にまたがる内容をもち、過去に出土したものと合わせ

木簡出土遺跡一覧

遺跡名	所在地	点数	木簡の年代	遺跡の性格
平城宮跡	奈良県奈良市	2956	古代	宮殿・官衙
平城京跡左京三条一坊十五坪	奈良県奈良市	5	古代	都城
平城京跡	奈良県奈良市	1	古代	都城
興福寺旧境内	奈良県奈良市	約600	中世	寺院
※ 大乘院庭園	奈良県奈良市	1	近世	庭園
藤原宮跡	奈良県橿原市	195	古代	宮殿・官衙
藤原京跡	奈良県橿原市	4	古代	都城
飛鳥京跡	奈良県明日香村	89	古代	宮殿
長岡宮跡	京都府向日市	4	古代	都城
長岡京跡(1)	京都府京都市	9	古代	都城
長岡京跡(2)	京都府向日市	20	古代	都城
平安宮内酒殿・釜所・侍従所跡	京都府京都市	4	古代・近世	都城・近世都市
大坂城跡	大阪府大阪市	5	近世	郭城
大坂城下町跡	大阪府大阪市	31	近世	下町
森の宮遺跡	大阪府大阪市	4	古代・中世	集落・水田
※○長原遺跡	大阪府大阪市	1	古代	村落
※ 四天王寺旧境内遺跡	大阪府大阪市	3	近世	寺院・集落
※○長曾根遺跡	大阪府堺市	1	中世	村落
※○入佐川遺跡	兵庫県出石町	5	古代・中世	水田・祭祀遺跡・武家屋敷
※ 宮内堀脇遺跡	兵庫県出石町	25	中世	武家屋敷
祢布ヶ森遺跡	兵庫県日高町	4	古代	官衙
※ 香住エノ田遺跡	兵庫県豊岡市	1	古代	集落・祭祀遺跡
※○神戸大学医学部附属病院構内遺跡	兵庫県神戸市	4	中世	村落
※○大毛池田遺跡	愛知県一宮市・木曽川町	1	中世	居館
○駿府城三の丸跡	静岡県静岡市	2	近世	郭城
○駿府城跡	静岡県静岡市	3	近世	郭城
※○御所之内遺跡	静岡県駿河市	1	中世	居館
※○蔚山反射炉	静岡県駿河市	3	近世	施設
※○大師東丹保遺跡	山梨県甲西町	1	中世	建物・水田・祭祀遺跡
※○甲府城関係遺跡	山梨県甲府市	3	近世・近代	城下町・武家屋敷
○居村B遺跡	神奈川県茅ヶ崎市	1	古代	水田
※ 北条小町邸跡	神奈川県鎌倉市	3	中世	居館
○宮町遺跡	滋賀県信楽町	約420	古代	宮
※ 南滋賀遺跡	滋賀県大津市	1	古代	村落
○西河原森ノ内遺跡	滋賀県中主町	2	古代	衙門
※○屋代遺跡群	長野県更埴市	126	古代	集落・祭祀跡・水田遺跡
※ 大猿田遺跡	福島県いわき市	1	古代	村落

○山王遺跡	宮城県多賀城市	古	代	都	城
○市川橋遺跡	宮城県多賀城市	古	代	都	城
※ 大日南遺跡	宮城県多賀城市	中	代	居	館
※○志羅山遺跡	岩手県平泉町	古	代	集	落
※○西太郎丸遺跡	福井県春江町	中	代	集	落
※ 磯部カンダ遺跡	石川県金沢市	古	代	落・官衙	落
○横江荘遺跡	石川県松任市	古	代	・官衙	・官衙
※○加茂遺跡	石川県津幡町	古	代	・官衙	・官衙
※ 豊田大塚遺跡	富山県富山市	古	代	・官衙	・官衙
※ 宮町遺跡	富山県富山市	中	代	・官衙	・官衙
※○五社遺跡	富山県小矢部市	古	世	・官衙	・官衙
※○寺町遺跡	新潟県吉川町	中	世	・官衙	・官衙
※○佐渡金山遺跡佐渡奉行所跡	新潟県相川町	近	世	・官衙	・官衙
※○桂見遺跡	鳥取県鳥取市	古	代	・官衙	・官衙
※ 岩吉遺跡	鳥取県鳥取市	古	代	・官衙	・官衙
米子城跡八遺跡	鳥取県米子市	近	代	・官衙	・官衙
※○山崎一号遺跡	広島県東広島市	中	代	・官衙	・官衙
長登銅山跡	山口県美東町	古	代	・官衙	・官衙
※○小倉城跡	福岡県北九州市	近	代	・官衙	・官衙
大宰府条坊跡	福岡県太宰府市	古	代	・官衙	・官衙
※ 吳服町遺跡	福岡県久留米市	近	代	・官衙	・官衙
※○松崎遺跡	福岡県夜須町	古	代	・官衙	・官衙
※○下林遺跡IV区	大分県宇佐市	古	代	・官衙	・官衙
※ 昌明寺遺跡	宮崎県えびの市	古	代	・官衙	・官衙

※は木簡新出土遺跡

○は1995年以前出土遺跡

て但馬国府との関係が想定される。

続いて荘園関係に目を転ずると、一九九四年以前の出土ではあるが東大寺領横江荘遺跡が著名な遺跡として挙げられる。そのほか、岩吉遺跡も東大寺領高庭荘関連の遺跡として注目されている。糀や春米などの付札、物品の下給状況を記した長大な帳簿様木簡、天長二年の税帳の題籤軸など興味深い木簡が多数出土し、官衙に関わる可能性も指摘されている。

中世の木簡では興福寺旧境内出土の柿経がある。

出土状況の明確な一括資料であり、当時の信仰を考える上で貴重であるが、整理が終了していないとのことであり、全容の解明が待たれる。また、戦国時代のものでは、入佐川遺跡、宮内堀脇遺跡が山名氏の城下町跡として一連のものである。

近世の木簡が出土した遺跡では、城郭、城下町遺跡として大坂城跡、大坂城下町跡、駿府城三の丸跡、駿府城跡、甲府城関係遺跡、米子城跡八遺跡、小倉城跡、吳服町遺跡などがあり、また、佐渡金山遺跡からは佐渡奉行所に関わる木簡が多数出土している。本会では以前から近世木簡についても情報の収集に努めているが、これらの史料学的な体系化を行なう

ことはなかなか容易なことではない。近世史研究者の方々の参入を期待したい。

なお、蛇足ではあるが、今年も木簡が出土した遺跡の報告書や木簡の報告書の刊行があいついだ。本号掲載の遺跡では屋代遺跡群がそれであり、以前に出土した遺跡では平城宮跡、宮町遺跡、荒田目条里遺跡などがある。本誌では触れられていない一点一点についての観察記録や、遺構・遺跡全体との関係などについてのより綿密な分析結果が掲載されている場合もあり、ぜひ参照されたい。また、本誌は全国出土の木簡を通覧するという目的から、积文の書式、型式番号など画一的に統一を図らせていただいているが、ある遺跡から出土した木簡を一つの史料群と捉えた場合、そこには自ずから固有の形態的、あるいは内容的体系が見えてくる場合もある。それぞれの報告書ではその知見が反映されている場合もあるので、その点からも本誌と併せてご覧いただきたい。

ところで、本誌は前年出土の木簡について調査を担当された方から寄せられた原稿を掲載するのが原則であるが、それ以前に出土した遺跡についてもできる限り掲載するよう努めている。本号でも一九九四年以前に出土した遺跡のうち、多賀城の南面に位置する山王、市川橋両遺跡の報告を掲載することができた。「右大臣殿餼馬收文」と復原される記載をもつ題籤軸など貴重なものが多く、陸奥国司の館の機能を考える材料となつていている。

一方、京都府平安京跡左京七条二坊八町及び本園寺・滋賀県小谷城跡・岩手県無量光院跡・島根県三田谷I遺跡などは本来であれば本号に掲載すべき遺跡であったが、叶わなかつた。また、奈良県西橘遺跡・京都府平安京跡左京九条二坊十五坪・御土居濠跡・高内親王遺跡・長野県櫻田遺跡・山形県大道下(旧月記)遺跡・新潟県牧目館跡・平林城跡・春日山城・伝至徳寺跡・広島県尾道遺跡などは、以前から木簡が出土したとの情報を得てはいるが今回も掲載できなかつた。これらの遺跡についてもできるだけ早い機会に掲載したいと願う次第である。この他にも本会で把握していない木簡出土遺跡が多数あると思われるが、これらを網羅すべく関係機関や会員、読者の方々のご教示、ご協力を重ねてお願いしたい。

(古尾谷知浩)